学校番号	３０７

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	「精選古典Ｂ　新版」　（東京書籍）						
副教材等	「四訂版 力をつける古文 ステップ２」（数研出版）　「解法古文単語３５０」（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ

・授業の予習のために、本文は必ず音読してください。
・授業の後は、内容を振り返り、復習しましょう。
・提出物の期限は必ず守ってください。また、定期考査に向けて、計画的に学習してください。
・古文・漢文それぞれの作品に親しみながら、内容、登場人物の心情を理解するために、語彙力や文法の力を養ってください。
・古典を通して人生を豊かにするための感性や情緒を育みましょう。

２　学習の到達目標

・古典に親しみ、人間・社会・自然などに対する見方や感じ方などに触れ、その内容を読み取ることを通して、思考力や想像力を伸ばし、豊かな感性や情緒を育む。

・古典教材を通じて、我が国の伝統と文化への理解を深め、人生を豊かにしていく力を育成する。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	ａ：関心・意欲・態度	ｂ：話す・聞く能力	ｃ：書く能力	ｄ：読む能力	ｅ：知識・理解
観点の趣旨	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、進んで古典に親しもうとしている。			古典に現れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、言語、語彙、漢字等を理解し、知識を身につけている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、ワークシートなど）			記述の確認および分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認（ノート、ワークシートなど） 定期考査、小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	説話・物語を読む	教材 『宇治拾遺物語』 「小野篁、広才のこと」	○			◎	○	a：作品の内容がわかるように登場人物の行動をまとめようとしている。 d：登場人物の行動を中心に、心情を的確に理解している。 e：和歌の修辞を理解し、現代語訳している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e：記述の確認 定期考査 小テスト
	随筆を読む	教材 『徒然草』 「花は盛りに」 『玉勝間』 「兼好法師が詞のあげつらひ」 『枕草子』 「すさまじきもの」	○			◎	○	a：登場人物の発言内容を理解し、心情や人柄に興味を持っている。 d：作者の感性や心情を理解している。 e：敬語やその他の文法事項を理解して、適切な現代語訳をしている。	a、c：行動の観察及び記述の点検 d、e：記述の確認 定期考査 小テスト
2学期	物語を読む	教材 『伊勢物語』 「初冠」「渚の院」	○			◎	○	a：登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、人物像に興味を持っている d：登場人物の人柄や考え方を理解した上で、自分のものの見方や感じ方、考え方を豊かにしている e：和歌の修辞法について、知識を理解し適切な現代語訳をしている。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e：記述の確認 定期考査 小テスト

2学期	漢文を読む	教材 「漱石沈流」 「先従隗始」	○			◎	○	a：登場人物の考え方に関心を持っている。 d：登場人物の論理を的確に理解している。 e：句法や漢文に頻出する基本的な語彙の読みと意味を確認し、訓点に従って正確に訓読している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認 定期考査、 小テスト
3学期	物語を読む	教材 『源氏物語』 「若紫」	○			◎	○	a：時代背景を踏まえ、作品世界に関心を持とうとしている。 d：登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、人物像を導き出している。 e：文法を正確に理解、適切に現代語訳している。	a：行動の観察及び記述の点検 d、e： 記述の確認 定期考査、 小テスト

＊ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：話す・聞く能力　c：書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

＊ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、全ての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎印を付している。